

## 5 RESASの活用



### (1) 目的

- ・ 情報をもとに地域の課題発見、考察、分析し論理的思考を身に付ける。
- ・ 教科の枠を超えて、生徒が社会に出てから必要とされる情報の見方を養っていく。
- ・ RESAS を用いて地方創生を情報の中から問題解決、課題解決していく姿勢を養う。

### (2) 対象生徒

実施学年：令和2年度入学生（1学年）196名

教科：総合的な探究の時間「未来探究」

単元：地方創生をテーマとした総合的な探究の時間



### (3) RESAS を使用して良かった点

初めて RESAS を使用する際に何を調べればよいのか、何に注目すればよいのかなどデータを見る際に具体的に表示されており、授業を進める上での指針になった。また教員にとっても、教材研究をする上でも役立ち、何を目的に使用させたいかなどを明確に指示することができ、スムーズに活用することが出来た。しかし、本来の使用の目的は違うと考えられるので、導入後、模索は必要だと考えられる。



### (4) RESAS の使用しづらかった点



実際に RESAS を使う際に、使い方の例題がなかったため、使い方を一から考え自分で教材研究をしなければならなかったのが、導入するとき大変な労力であった。また本校では、Wi-Fi が導入されてはいるが生徒が一斉に使用すると重くなり、遅くなってしまいう傾向があり、授業の中で全体に使い方の説明を一斉にする必要があったが、大まかな使用方法しか教えられず、後は生徒任せになってしまった。ICT を活用するには PC 教室等で行うか、情報の授業で活用するなど、導入する際に注意が必要だと感じた。また RESAS では生徒が必要なときに使用したい

データの見つけ方や活用方法などが詳しく載っていないため、事前に例題を作成することが必要である。また、chromebook ではエクセル等が使用できないので RESAS のデータを使用するには、変

換などの機能を事前に確認をする必要がある。本校の環境では、違う使い方を模索する必要があると感じた。

(5) 今後 RESAS をどのように活用したいか

本校では今後も探究活動を充実させていく予定なので、まずは総合的な探究の時間に RESAS を使いエビデンス資料として活用していきたいと考える。他にも探究活動がさらに教科横断的な学習になれるように総合的な探究の時間に限らず、各教科で活用できるようにしていきたい。数学ではデータの分析で活用し、それをきっかけに生徒に分析させる力を身に付けさせることが出来たら面白いと思う。また地歴・公民では、年代別に、その地域では何が起きたのかななどを考察し、歴史的背景が、みられるようになると面白いと考える。また理科などにも普及していき、教科問わずに繋がりを持って授業展開が出来たらいいと考える。



(6) RESAS を使用して生徒の学びにどう変化が起きたか

実際のデータをみることによって、生徒が自らその時代の背景を読み取るようになり、その過程や結果などを考察するようになり、自ら深く学ぼうとする姿勢がみられるようになった。生徒自身の学びの姿勢や調べることが自発的に行われるきっかけになるようになったと思われる。RESAS の使用については、探究活動のエビデンスとして扱うことを当初は考えていたが、データの見方や情報を扱う事を指導することによって、生徒の成長の可能性を見られたので、様々な機会を見つけて活用していきたいと考えられた。

